



営農サポート通信 第24号

平成26年1月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

明けまして おめでとうございます

今年も私たち営農サポーターの訪問活動に対しまして、ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

さて、国会では自民党が過半数を占め、農業政策に期待をしていました。しかし、安倍政権下でTPP参加表明を行ってからは、急速な進展を見せ、交渉参加12カ国と年内妥結まで目標に掲げましたが、断念したところであります。米国は日本に対して、農産物の重要品目の関税撤廃を含む高い水準の自由化を求めています。JAグループは引き続き、「食・暮らし・いのち」を次代へつなげるための運動を徹底していきます。

また、政府は26年度からの経営所得安定対策や米政策見直しの全体像を正式に決定しました。直接支払交付金の減額、戦略作物助成の見直し、飼料用米等の増産等、新たな水田農業政策がスタートします。皆様方には座談会等を利用してお知らせしていきます。

最後に農業とは直接関係ありませんが、今年はスポーツの祭典として、2月に「ソチオリンピック」、6月には「サッカーの世界カップ」が開催されます。日本人だけでなく、全世界の選手が活躍する姿が、もう目に浮かびそうです。皆さまの農作業のチョットした合間に感動を与えるような大会を期待したいものです。



平成25年度分確定申告について

JA都城農業経営者組織協議会（青色申告会）では、2月6日から確定申告の受付が始まります。

会員以外の組合員で電算システムに加入されている方は、1月27日から随時、各支所にて帳票を配布します。（ハガキをお持ち下さい）

申告会場には、社会保険料控除（国民年金、健康保険などの支払証明）、本人の生命保険の証明書を忘れないようにしてください。

ごぼう情勢（園芸課より）

国内の生産地は何処も不作となり細物中心の出荷となっております。太物の要請が強いですが、末端で物が動いていない状況なので単価安が続いています。

加工物も、数量確保のため外国産に動いており、国内産は厳しい状況となる見込みです。

一方、春先は青森産の貯蔵物が今年は少ない状況もあり、スムーズに新物に移行するのではないかと見えています。

里芋情勢（園芸課より）

本県産及び南九州産については、干ばつのため不作となっております。本州の産地は、例年並みの出荷状況であるため、市場は数量確保するために本州産の取り扱いを増やしており、南九州産については積極的に販売していない状況となっております。

このことから、今後の荒相場についても品物を集めるためのスポット的な値上げはあるものの、総体としては下げ傾向で動く見込みです。

資材情勢

◆肥料

春肥（11～5月）について、メーカーからは重油等の値上げによる製造諸経費上昇分の値上げ要求がありました。しかし、JAグループでは、平成25年度秋肥（6～10月）の値上げを受けて農家経営がますます厳しくなっていることを訴え、原料コストと製造諸経費の値上げ要因について、メーカーの合理化努力で極力吸収するよう求めました。

また、海外原料については、円安要因はあるものの、直近の国際市況が弱含みであることを交渉に反映させましたが、加里質肥料は原料価格上昇の要因があり値上げとなりました。

この結果、高度化成15-15-15で前期対比0.5%値下げになりましたが、加里質肥料が値上げとなる為、成分によっては値上げとなる銘柄が出ました。

JA都城では、全体的に若干の値下げ又は据え置き。一部商品が値上げの状況です。

◆農業用ビニール・PO・ポリ

温床資材の原料である原油価格は、平成25年1月以降、為替相場の円安傾向および中東情勢の悪化などを背景に高値水準をつけています。また、石油化学製品の主原料であるナフサについても、一時下落したものの、原油価格上昇や需要が強まるとの見込みから上昇に転じています。

この状況により樹脂メーカーは2月1日から、塩ビ・ポリエチレンを1kg当たり15円以上の値上げを決定しました。そのため、製品メーカーも、農ビ・POで約10%、農ポリで10～15%の値上げを通知して来ましたが、JA系統は交渉の結果、農ビ・POを約5%、農ポリを8%の値上げで抑えることができました。

JA都城では、主要規格(幅95・110・120cm)については、3月まで据え置き、それ以外の規格については、2月から平均8%値上げ予定です。

◆その他

グリホサート剤（ラウンドアップ等）は海外市況の値上がりが見られ、円安の影響が重なっていることから、一部の剤で値上げとなっております。

サポーター報告会が開催されました

昨年、12月20日に営農サポーター報告会を開催しました。常務以下、各課課長（金融部門、農産部門、園芸部門、資材部門）総勢30名が出席し、これまでの活動内容と皆さまからの意見要望を報告しました。

主な内容だけ抜粋しましたが、他にも様々な要望等があり、すぐに着手できる内容については、研修会や事業改善を行うという返答を受けたところです。

《報告内容》

- ・くみあい食品、アグリセンターの対応について
- ・支所購買窓口の接客対応及び在庫管理について
- ・安価な肥料の製造要望
- ・商系の農産資材価格の状況報告
- ・グリーンセンター設置に伴う組合員からの意見



（文書取扱：JA都城 営農企画室） 事務所の電話番号は0986-38-6693です